

第2分	チーム医療 (佐藤)
解説	精神医療は、施設中心の医療から地域医療へと移行してきている。その結果、患者様の社会復帰の為にニーズや生活の充足のためには、これまで行なってきたこと以上に多様なサービス提供の必要に迫られている。その実現のためには、様々な専門職が協力して患者様を支援することが必要である。精神科のチーム医療では、医師、看護師、ソーシャルワーカー、作業療法士、臨床心理士、栄養士、薬剤師など、多くの専門職が治療に携わっている。チームスタッフは各職種の役割と機能を充分理解することが必要である。その上で患者様の治療過程において情報の提供と共有をし、それぞれの専門性を発揮しながら相互に連携をして、治療目標に向かってアプローチしていくことが重要である。看護は、これまでのように「何でもこなす」というサービスではなく、身体ケアとともに患者様の感情的な部分により配慮した看護や、患者様の社会経済参加に結びついたサービスが期待されている。また、家族、保健所、福祉事務所、職親（職場の人）、教師、施設職員など、患者様が社会で生きていくために必要な資源や人との橋渡しをするもの重要な役割である。急性・亜急性期における医療チームの特徴は、医師の診断、治療方針に沿い患者様の症状安定のためにコメディカルスタッフ、家族、職場へとチームの輪を広げながら患者様の早期退院を目指していく。また慢性期における医療チームの特徴として、患者様のリハビリテーションを目指した関わりがポイントとなる。PSW、OT、家族などが中心となって社会参加に必要な社会資源などを積極的に活用する。医師、看護師は病状の安定、心理的動揺を側面から支える役割を担っている。 チームにおける看護の役割としては、①患者様に必要な治療が、抵抗や苦痛なく受け入れられるように援助する。②患者様の症状の安定に必要な治療的環境であり、生活も重視した環境であるように配慮する。③患者様の低下した意欲や社会性に対して、日常生活やOT活動などを通して社会生活への関心を高める。④患者様の生活上に表れる不安や葛藤を察知し、介入する。⑤患者様の傍らにいる看護師は、患者様の心理的問題、治療への抵抗や受け止め方、治療の効果、家族や職場との関係など、様々な情報を把握できる立場にいる。 これらの情報を適切にチームに提供する。⑥患者様の権利を擁護し、不利益を被らないよう配慮する。
例題1	精神科医療を展開していく上で、チーム医療が重要視される理由について述べなさい。
回答	精神医療は、施設中心の医療から地域医療へと移行してきている。その結果、患者様の社会復帰の為にニーズや生活の充足のためには、これまで行なってきたこと以上に多様なサービス提供の必要に迫られている。その実現のためには、様々な専門職が協力して患者様を支援することが必要である。
例題2	急性期及び慢性期における医療チームの特徴についてそれぞれ述べなさい。
回答	急性・亜急性期における医療チームの特徴は、医師の診断、治療方針に沿い患者様の症状安定のためにコメディカルスタッフ、家族、職場へとチームの輪を広げながら患者様の早期退院を目指していく。また慢性期における医療チームの特徴として、患者様のリハビリテーションを目指した関わりがポイントとなる。PSW、OT、家族などが中心となって社会参加に必要な社会資源などを積極的に活用する。医師、看護師は病状の安定、心理的動揺を側面から支える役割を担っている。
例題3	当院に勤務する職種を書きなさい。
回答	医師、薬剤師、看護師、准看護師、介護福祉士、介護員、作業療法士、精神保健福祉士、ソーシャルワーカー、臨床検査技師、レントゲン技師、臨床心理士、臨床心理技術者、調剤補助員、管理栄養士、事務員
例題4	チーム医療が重要視される理由を書きなさい。
回答	医療の専門分化が進む中、病院には多くの専門職種が協働して医療行為を行っている。しかし、ケアを受けるのはたった一人の患者様である。情報共有できていなければ、患者様はさまざまな人から別々の意見を聞き混乱してしまう。 それを防ぐためには、職域を越えて情報共有し、どの職員からも同じ意見を聞くことができるような医療体制を整えることが何よりも大切である。 情報共有することにより、どの職種も、また患者様も同じ目標を目指して、それぞれのケア計画を立案し実行することがチーム医療である。
例題5	患者様も含めて他職種間で情報共有するために注意しなければならないことを書きなさい。
回答	①全員がわかる言葉で話すこと（専門用語は使わない） ②些細な情報でもこまめに情報交換すること ③自分が知り得た情報は止めることなく流通させること ④情報は相手が使いやすいように加工して提供すること（相手が必要とする情報を把握し、相手が使いやすい形で提供すること） ⑤重要な情報から伝える ⑥情報はわかりやすく、簡潔に、まとめて話す ⑦情報は記録に残す（口頭伝達ではその場にはいない人に情報は伝わらない） ⑧報告・連絡・相談の徹底 ⑨他職種の仕事を理解すると同時に、自分の仕事内容も理解してもらえるよう努力する（相手の仕事内容がわからなければ、どのような情報が必要なのか判断することができない）
例題6	日替わりのリーダー業務は難しいといわれるがそれはなぜか

回答	継続性のない日替わりのリーダーは、前後左右の状況がわからないため瞬時に状況を判断することが難しいため。 だからこそ、日替わりのリーダーは、自分から前後左右の情報収集を怠らず、状況を把握できるよう準備する必要がある。
例題7	医師に情報提供したとき怒られることがあるがそれはなぜか、また、そうならないためにどうすればいいか書きなさい。
回答	医師に情報提供して怒られるときは、①報告内容がまとまっていない、②何を伝えたいのかわからない、③指示をするために必要な情報が不足している、④伝書鳩のように相手の言葉を伝えているだけで、専門職としての役割を果たしていない、⑤報告のタイミングが悪い、などの理由が考えられる。おこられたときには、適切な方法で的確な情報を伝えたのか、タイミングはどうだったか、など自分のコミュニケーションスキルを振り返ってみることが大切。そして、同じコミュニケーションミスを繰り返さないことが重要である。
例題8	他職種との連携・調整のなかで行うコミュニケーションの目的を書きなさい。
回答	ケアの一貫性や継続性を保証するために情報を共有化する目的で行う
例題9	ケアの一貫性や継続性を保証するために行う情報交換の手段を書きなさい。
回答	①チームカンファレンス ②申し送り ③モーニングミーティング ④全体連絡会議 ⑤退院療養計画検討会 ⑥診療課症例検討会議 ⑦病院管理会議 ⑧診療報酬請求検討会 ⑨各種報告・連絡・相談